



## 熱気あふれる体育の祭典

5/20 町内の中学校体育会

晴天の中、生徒たちが日ごろの練習の成果を十分に発揮し、熱い戦いを繰り広げました。生徒たちはリレーや棒引き、大縄跳びなどの競技のほか、息の合ったダンスや応援合戦などを披露。また、校区内の小学生や地域の人たちが参加できる競技も催され、会場を訪れた人たちからは大きな歓声と拍手が送られました。



## 青少年の明るい未来を願って

5/24 岡垣町青少年補導員研修会

町内 55 の自治区から1人ずつ推薦された青少年補導員を対象に、中央公民館で催しました。

研修会では、折尾警察署少年課長の青木博徳さんが、青少年を非行に走らせないための接し方や補導活動のポイントなどを説明。参加者は熱心に耳を傾けていました。

補導員の皆さんは、来年3月まで駅前を中心に声掛け運動などを行い、青少年の健全育成に取り組みます。

## みんなで集いホタルを思う

5/26 吉木校区コミュニティ 第10回ほたるまつり

高倉神社で催され、子どもから大人まで400人を超える人が訪れました。鳥居前のステージでは、剣舞や腹話術が披露され、客席は拍手や笑い声でとてもにぎわいました。また、今年は北九州市ホタル館の館長である新海正信さんがホタルの生態を解説。来場者は熱心に説明を聞いた後、会場横の乳垂川でホタルを観賞しました。

乳垂川は、日ごろから校区コミュニティや地域の皆さんが清掃活動などを行っているおかげで、きれいな環境が保たれています。来場者は、ホタルの観賞が楽しめることに感謝しながら、やすらぎのひとときを過ごしました。



## 人と大地が育てる特産品

5/26 本格焼酎「岡垣」の原料となるサツマイモの苗植え

松ヶ台グラウンドの近くにある畑で行われ、約100人のボランティアが一斉に苗を植えました。手作業で丁寧に植えられた約8,000本の苗は、収穫までの間、岡垣町認定・志向農業者連絡会の皆さんの手で大切に育てられます。

参加者からは「初めて参加しましたが、みんなで作るの楽しいですね」「今日植えたイモが焼酎になる日が待ち遠しいです」などの声が聞かれました。この日植えられたサツマイモは10月ごろに収穫される予定です。



## 楽しみながら社会に貢献

5/11 第9回岡垣町民チャリティゴルフ大会

スポーツの振興や健康増進、チャリティーを通じた社会福祉への貢献を目的に催されました。会場となった宗像市のゴルフクラブに集まったのは190人。参加者はボールの行方に一喜一憂しながらプレーを楽しんでいました。また、大会の最後に行われた表彰式では、それぞれの健闘をたたえ合っていました。

この大会への協賛金と収益金から30万円が、社会福祉協議会などに寄付されました。

## 海岸がきれいになりました

6/3 ラブアース・クリーンアップ2018

サイクリングやウォーキング、マリンレジャーなどを楽しもうと多くの人々が訪れる三里松原海岸。これから7月末にかけては、ウミガメも産卵に訪れます。この海岸をいつまでもきれいに保つため、1,402人のボランティアが参加しました。約1時間30分の作業で回収したごみは約7.7t。清掃を終えた参加者は「海岸がきれいになったので、今年はウミガメに産卵に来てほしいです」と話してくれました。



## 楽しく学んだ岡垣の水

6/2 水道まつり

町の水道水は、地下水を約85%使用しています。その水道水や地下水のおいしさと、それを生み出す豊かな自然の大切さを知ってもらおうと、岡垣町浄水場で催しました。当日は晴天に恵まれ、約970人が来場。水の飲み比べや施設見学のほか、抽選会やアフリカ太鼓、岡垣びわスターズのバンド演奏、バナナのたたき売り、わた菓子やかき氷の提供などが行われ、大人も子どもも楽しんでいました。